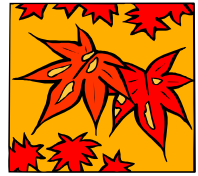


のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367
〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

発達障害者サポーター研修会報告

平成24年10月10日に千葉県発達障害者支援センターの田熊立先生をお招きして「特性の理解に基づく環境づくりやコミュニケーション」をテーマに今年度2回目の研修会を野田市総合福祉会館にて開催しました。

市内外から84名の参加がありました。

以下資料の抜粋です。

◇注意、関心、興味の向く対象は一度にひとつ

→どこを見れば良いのか、何を聞けば良いのかわかりやすく。

◇「白か黒か」で世の中を把握しようとする。

→間があるということを視覚的に知らせる。

◇安定した状態を好む

→変化があるときや崩す時には予告をする。変更を伝えるためにもスケジュールは明確にする。

◇相手の気持ちがわかりにくい

→気持ちに共感しつつ、適切な行動を一緒に考える。見えない相手の気持ちや状況を解説する。支援するポイントを教えて頂くことができました。日頃の活動に役立てたいと思います。

中核地域生活支援センター研修会に参加して

平成24年11月9日に千葉県庁南庁舎別館にて、中核地域生活支援センター研修会に参加しました。

今年度4回目の研修会で、今回は法テラス弁護士の浦崎寛泰先生の講義を拝聴しました。「罪を犯した障がい者の人権と弁護」の内容で、色々なお話を聞きました。

「刑務所に毎年入る人の4人に1人がIQ69以下で、2人に1人がIQ79以下であるとの事が、平成18年度の調査で判明された」との説明がありました。

「刑務所に居たがる人、何度も出入りする人が多い。刑務所から出所された方で、行き先の無い方が多いのと、地域で暮らすより刑務所で暮らした方が良いと考えている人が多い」そうです。「地域で暮らすより刑務所で暮らす方を優先とする、現在の社会に問題がある」との指摘がありました。

「再犯を犯す前の段階で福祉に繋がれば、再犯を防止する事が出来たのではないか」との話があり、福祉と司法(弁護士等)の連携の仕方が今後の課題になるとの話でした。

講義内容は分かり易く、とても勉強になりました。

(記:中村)

平成25年4月より、関宿に新オープン 地域活動支援センター 「きらり」

地域活動支援センター
「きらり」ってどういう所なの？

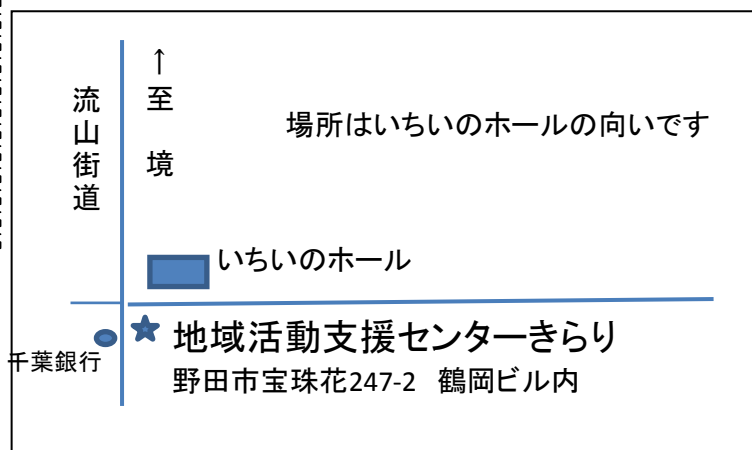
心の病が原因で、家にこもっている人たちや、通院している人達を対象に、仲間と一緒に過ごしながら、生活リズムを身につけたり、話をしたり、相談したりする場を提供する事業所です。

お困りのご家族からの相談もお受けします。

「きらり」を運営する法人はNPO法人枝の会で、川間の駅の側で地域活動センター「のぞみ」を運営しています。

以前から関宿地区に心の病を持った方々が集える場がないことを心配され、昨年、いちいのホール内で毎週水曜日の午前中「のぞみの分室」として活動をしてきました。

その実績の甲斐あって来年度から、地域活動支援センター「きらり」を開始することができました。



お気軽に
お電話
下さい！！

《 お問合わせ先 》

NPO法人 枝の会

地域活動センターのぞみ

野田市尾崎837-15

電話: 04-7129-9625

FAX: 04-7129-9626

Eメール: nozomi@major.ocn.ne.jp

趣味の部屋



入院したことをきっかけに野田市に住むことになった方です。一緒に買い物をしたときに、じっとカメラを見つめていたので話を聞くと昔趣味で写真を撮っていたとのこと。その写真が北コミュニティセンターの喫茶「四葉のクローバー」に飾られていると聞いて見に行ってきました。誌上では見にくいと思いますので、是非実物を見に行ってください♪



Nさんからのコメント
昔撮った写真が目の目をみる事ができて良かったです。

「私の作品も載せてほしい！」という方大歓迎です！
絵・俳句・詩などなど...何でもOKです。
のだネット五十嵐までご連絡下さい♪

<新人職員紹介>

★ 中村 成彦

はじめまして、平成24年9月24日より中核地域生活支援センターのだネットにて相談員として働かせていただいています。

前職は、他の法人にて精神障がい者支援に携わる職務に就いていました。

今までの経験を活かして一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

